

来週の市場とレート予想					
	7/13 (月)	7/14 (火)	7/15 (水)	7/16 (木)	7/17 (金)
無担保O/N	0 . 0 3 0 % ~ 0 . 1 2 5 %				
銀行券	+ 1,200	+ 1,000	ト ン	△ 1,000	△ 2,000
財政他	△ 14,800	△ 24,000	+ 2,000	+ 1,000	+ 2,000
資金需給	不 13,600	不 23,000	余 2,000	ト ン	ト ン
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M) 国債発行(30年)	源泉所得税・労働保険揚げ	国債発行・償還(2年)	交付税特会借入・償還	
オペ期日	共通担保(全店) △ 1,000 CP等買入 △ 300				
オペスタート	共通担保(全店) + 1,100 ETF買入 + 100	国債買入 + 17,500 短国買入 + 7,800			
(日本)	マネタリーサーベイ(5月)	日銀金融政策決定会合 (1日目) 日銀営業毎旬報告 (7月10日現在) 日銀が保有する国債の 銘柄別一覧 日銀による国庫短期証券の 銘柄別買入額	日銀金融政策決定会合 (2日目) 展望レポートの中間評価 黒田日銀総裁記者会見	金融経済月報(7月、日銀) 業態別の日銀当座預金残高 (6月)	
(海外)	米 財政収支(6月) 欧 ユーロ圏財務相会合 (ブリュッセル) 欧 キリシヤ銀行休業期間最終日	米 小物売上高(6月) 欧 EU財務相理事会 (ブリュッセル)	米 イエレンFRB議長議会証言 (下院金融委員会) 米 NY連銀製造業景況指数 (7月) 米 ページェブック 米 MBA住宅ローン申請指数 米 サンフランシスコ連銀総裁講演 米 鉱工業生産(6月) 米 PPI(6月)	米 イエレンFRB議長議会証言 (上院銀行委員会) 米 新規失業保険申請件数 欧 ECB金融政策発表 欧 ドラギ ECB総裁記者会見	米 フィッシャーFRB副議長講演 米 ミシガン大学消費者 マインド'指数(7月) 米 CPI(6月) 米 住宅着工件数(6月)

[インターバンク市場]

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	0.080 ~ 0.120
SPOT 2M	0.117 ~ 0.125
SPOT 3M	0.118 ~ 0.135
SPOT 6M	0.130 ~ 0.150

来週の材料としては、国内は日銀金融政策決定会合(14・15日)や展望レポート中間評価(15日)、海外ではページェブック(15日)やイエレンFRB議長議会証言(15・16日)、ECB金融政策発表(16日)等が挙げられる。

[オープン市場]

NCD 3M	0.090 ~ 0.120
CP3M(a-1+)	0.070 ~ 0.090
TDB 3M	△0.008 ~ 0.000
現先(on/1w)	0.060 ~ 0.100

<TDB>

9日に国庫短期証券3M第544回債の入札が行われたが、最高落札レートは△0.059%(前回債0.0000%)、平均落札レートは△0.0087%(前回債△0.0024%)と前回債から利回りは低下した。セカンダリーは3Mで△0.077%近辺の出合い。6Mは△0.05%近辺の地合い、1Yは目立った出合いは見られなかった。来週14日に1Y、16日に3Mの入札が行われる予定である。

<レポ>

足許GCは週初0.01~0.015%の出合から始まった。TDB6Mの入札が行われた8日には0.05~0.06%、TDB3Mの入札が行われた9日には0.055~0.065%での出合まで上昇した。週末には短国買入・国債買入れオペが合計2兆5300億円オファーされたこともあり、0.03%近辺までレートが低下し越週した。SCは10年337・338回債がO/N物・ターム物ともに週を通してネガティブレートで推移した。10年328回債はオペ要因か、5年超10年以下の買入オペがオファーされた10日にはO/N物で△0.05%の出合も見られるなど、タイト化した。2年債は351・353回債、5年債は123・124回債、10年債は310・311・325・328・329・337・338回債に引合が多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。